

1月11日

今年も交通安全を 交通指導隊年頭点検



市民を交通事故から守り、交通安全に取り組んでいる市交通指導隊の年頭点検が市民体育館（もみじ平総合公園）で行われました。隊長の松本幾男さん（星田）の号令により、指導員が整列。点検官らが観閲した後、指導員は各自が所持する手帳を提示したり、警笛を鳴らしたりして点検を受けました。

1月7日

隊員が勢ぞろい 消防隊出初式

生涯学習センターで、消防隊出初式が行われました。新春の澄んだ空気の中、生涯学習センター駐車場に整列した約200人の消防隊員と消防車の前を市長と副市長が観閲しました。ホールでの式典では、永年にわたって地域の防災に尽力している団員や退職した団員、消火活動に協力した市民が次々と表彰されました。



観閲する市長と消防隊員

12月31日
～1月上旬

二年参りに初詣 「よい一年に…」

新年の無事と平安を祈願するため、市内の神社仏閣は二年参りや初詣の参拝者でにぎわいました。

古くから信仰と祈願の神社として知られる妙義神社には、たくさんの参拝客が165段の参道石段を登り、本社で一年の平安を祈願しました。



妙義神社（本社）

12月31日
～1月3日

妙義山と干支の イルミネーション

道の駅みょうぎ駐車場の土手をキャンパスに、妙義山と干支をモチーフにしたイルミネーションで年末年始の妙義山の夜が飾られました。この事業は妙義山を愛する会（神宮正美会長）が行っているもので、12月31日、午後10時から昨年の干支のトリが点灯。年越しのカウントダウンとともに今年の干支のイヌに変わり、会場をにぎやかに演出していました。

12月31日午後11時59分



1月1日午前0時



1月6日
～14日

色鮮やかな繭玉 を飾り付け

繭の豊作と無病息災を願う繭玉飾りが、富岡製糸場の東置繭所に飾られました。地元にも伝わる小正月の風習を知ってもらおうと、甘楽富岡蚕桑研究会が中心になって高さ4メートルのヤマボウシの枝先に、赤・白・桃・緑の繭玉に見立てた団子を飾り付けました。冬の場内を彩る華やかな繭玉飾りに、来場者からは感嘆の声が上がりました。



来場者も繭玉の飾り付けを体験

1月21日 迫力ある熱戦の数々 上毛かるた競技大会

市子ども会上毛かるた競技大会が、富岡小体育館で行われました。選手たちは真剣なまなざしで向き合い、読み札が読まれると一斉に取り札に手を伸ばしていました。優勝した団体・個人は次のとおりで、市の代表として県大会に出場します。

- 団体の部**▷小学生低学年=七日市黒川
▷小学生高学年=七日市黒川▷中学生=七日市黒川
個人の部（敬称略）▷小学生低学年=豊田優（七日市黒川）
▷小学生高学年=松本響（七日市黒川）▷中学生=井出桃美（一ノ宮）



1月21日 「満願成就」虚空蔵例祭

岩窟にお堂が建つ虚空蔵堂（星田）で例祭が開かれました。多くの参拝者が訪れ、虚空蔵像に手を合わせたり、太鼓を鳴らしたりして願を掛けました。



1月14日

1年の厄よけを祈願 北向観音例祭

大島の北向観世音堂で例祭が開かれ、厄よけ祈願などをすると多くの参拝者でにぎわいました。厄落としのために投げた小銭などは、崖下で待つ地元の子どもたちが拾い集めていました。



1月18日
～2月4日

あたたかみのある 真綿の作品物を展示

富岡製糸場の東置繭所で「真綿のドレス展～白く清らかな真綿のあたたかさ～」が開催中です。本市の養蚕農家が愛情を込めて生産した繭のうち、選除繭を用いて制作したドレス3点やリースなどを展示しています。どれも優しくあたたかみのある作品となっています。

●会期は、2月4日(日)まで。

